

# 荒井会計通信



VOL.23

発行日 平成 23 年 9 月 1 日(木)

発行者 〒162-0825

東京都新宿区神楽坂 3-1-17

ハイポイントビル5階

荒井会計事務所

TEL03-3235-5180

FAX 03-3235-5190

URL : <http://www.e-shoroku.com/>

昨年 12 月以来の会計通信の発行である。今年 3 月 11 日に東日本大震災が発生し、同時に福島県原発事故を誘発した。震災後の復旧関連予算は 2011 年度で 6 兆円が国会可決しており、秋以降に復興は急速に進むと思う。問題は原発事故だ。この事故は明らかに人災である。原子炉の炉心が溶融してしまい、広島型原爆の 168 個分の放射性物質をまき散らし（原子力安全・保安院発表）、今後も核分裂状態が半永久的に続き、放射能の飛散は止まらない。我々の生活に甚大の影響を及ぼすに違いない。このような状況下で、我々の生活スタイルは食べ物を吟味することぐらいを除き、原発事故前とあまり変わらない。“いまの生活拠点から逃げようがない”と居直っているのか、諦めているのか、分からない。

未だに外国人が日本を避けているのは、今度の事故の重大さを物語っているようだ。第一線の国際女優でありジャーナリスト・作家でもある岸恵子さんは 8 月 31 日のテレビ朝日の番組の中で・・・『原発の怖さを、日本人は他人事のように考えている。これからは若い人が主体となって率先して原発に頼らない、自然と共生していくライフスタイルを築き、精神的・時間的な豊かさを身に着けていくべきだ。』とコメントしていた。今回の事故は戦後、我々のライフスタイルが物・金や軽薄さを追い求めて来た象徴である。あんたらは自然の恵みの中で生きているのだから、自然のリズムで簡素なゆったりした生活スタイル築きなさいと、自然界が教示してくれたに違いない。

## 荒井昇の辛口コラム 23

### 【日本及び世界経済の今後とその対策】

さて、深刻なのは経済も同じだ。我が国は平成になってから不況が続き、失われた 20 年などと言われてきたが、海の向こうの米国でも、財政が破綻寸前で、国債が格下げされ、お先真っ暗な状況だ。過去、当会計通信や当事務所主催の講演会等で述べてきたが、世界資本主義経済の崩壊が、いよいよ最終局面に入ってきたようだ。

過去 40 年間、際限も無く米ドルを印刷してきた、その付けの清算時期が来たのだ。基準通貨の米ドルの破綻により今後 15 年、世界はカオス状態になる。世界の到る所で国家の破綻、金融恐慌、取付け騒ぎ、略奪、一揆、暴動、人為的原発事故（特にアメリカで）の多発、革命等が勃発するだろう。

このカオスの世界に生き残っていくには、中長期的な視野で健康・体力を維持し、使命感に燃えて生きる必要がある。早寝、早起き、勤勉に励み、身体を鍛え、自然に感謝し、そして自然を愛し生活すれば、我々の心にワクワクした気持ちが全身に湧き出し、躍動感のある世界に戻るだろう。そして世界に平和と安定が戻ってくる。

この件に関しては、裏面で掲載の【世界資本主義経済崩壊後は人類の衰退期にはいる】に記載されています。

### 【民主主義の限界と誤解、今の政治経済の破綻原因を作ったのは我々国民だ！！】

敗戦後 66 年が経ち、我々日本人は先進国の中でも、かなり豊かな生活をしている。五体満足な人が働かなくても、生活保護制度があり生存権は保障され、また就職先が無く、または中途退職で失業しても、充電中・フリーター・ニート・ホームレスなどと少し粋な呼び名を付けて、社会は彼らを差別化せず寛容に受け入れてくれる。決して無職・浮浪者・乞食・プータロウ・落ちこぼれ等と差別しない。

学校でも、子供の学力が伸び悩んだり、先生に怒られた



はじめまして  
吉田 匡史

所長の厳しい指導のもと、1 年が経ちました。大分仕事になれたようですが、まだまだ覚えることが多く、今後も飛躍していきたいと思えます。

自分自身勉強しながら、税務・会計の情報などのワンポイント豆知識やスタッフ目線での事務所情報なども掲載していきたいと思っております。

また、3 月の地震で被災にあった方々に心よりお見舞い申し上げます。私も何が正しい、何が正しくない、と明確につかめないところが不安をあおられますが、恐れているばかりでもいられません。前向きに一所懸命頑張るつもりですので、どうぞこれからもよろしくお願ひします。

り平等に扱われなかったり、殴られたりすると、多くの親は学校または先生に責任を転嫁し、自分やわが子を省みることがをしない。

やっと就職が決まっても会社の仕事は 3K（きつい、汚い、危険）でだめだ、自分の性に合わないし、会社も暗い雰囲気だし等と言って、簡単に辞めてしまう。気が弱いと、プレッシャーに負けて鬱病になってしまう若者が続出している。この状態は社会活動を停滞させ、少子高齢化で生産能力が毎年低下してアップアップの国家運営に更に追い打ちをかけ破綻の淵に追い込んでいく。

人間差別化され、いやな思いを経験するのも、ハングリ精神を育てるには必要な時もある。民主主義は権利と義務を人間社会に公平に嫁しているのである。今の社会は権利だけを主張する人の方が圧倒的に多く、あまり義務を果たさない。

過去政治家、役人、企業及び住民がぐるになって至る所に公共施設・道路・鉄道・飛行場等の箱物を作り、また外郭団体・ペーパーカンパニー（雇用受入会社）を作り、自分達の雇用の受入先にし、私欲と権利だけを具現化してき

た。民主主義という言葉を利用して、社会を騙してきたのだ。民主主義は好き勝手に生活しろとは定義していない。

今、規制緩和、グローバル経済、円高だといって、企業はどんどん労働力の安い海外に進出していく。これは、明らかに誤解で錯覚だ。日本には老若男女の働き手が沢山余っているのに、企業は目先の利益に目が眩んで、家出してしまう。海外でいくら稼いでも豊かになるのは企業の一部の社員と経営者であり、一部の株主である。国が得るのは、利益から生じる僅かな税金だけである。国内で生産すれば労働者から得られる税金(所得税、消費税、住民税、社会保険料等)を放棄し、彼らが働けないと、消費活動も減退させる。金額にすれば国内に生産拠点を設ければ、海外で生産するよりも約10倍の税収(源泉所得税、消費税、住民税、固定資産税等)を国家にもたらす。

海外進出理由が人件費・土地代が高すぎる、円高だと言っているが、老若男女(15~75歳)の潜在的失業者(働ける人で仕事のない人)は1200万人を優に超えている。

日本が崩壊する瀬戸際の今、この潜在的失業者を安い労賃で使いこなすのは不可欠だ。これによりGDPは年約35兆円増え、今言われている日本のGDP(2010年度475兆円)の需要不足分約40兆円(供給過剰:稼働率が低い)の9割を埋められる。要するに国家財政も景気もかなりよくなり回復するので、社会に活気が出てくる。

円高で騒いでいるがニクソンショック(1ドル:360円)の40年前から現在の70円台まで、ずっと円高で推移してきたのだ、国民がやる気さえあれば簡単に乗り切れる。

**【グローバル経済の終焉】**過去、グローバル経済が世界経済をリードしていくと言われて来たが、既にグローバル経済は終焉に向かっている。WTO(世界貿易機構)は空中分解の状態だし、TPP(環太平洋連携協定)で農産物の自由化を企てているが、これもナンセンスだ。穀物自給率を高くするのは国家が繁栄維持していく原点だ、日本のノウハウのある中小農家を保護せずに、国の戦略はなり立たない。

世界経済をたて直すのに一番大事なことは、まず自国の経済を立て直すことだ。国家の財政難はすべて国民の怠慢と自惚れにあるのだ。民主主義の原点(権利と義務を果たす)に戻ってやり直すことが、まず始めの一步だ。

**【世界資本主義経済崩壊後は人類の衰退期に入る】**

会計通信NO18~22(世界経済崩壊シリーズという)で日本・米国・EUのバブルの崩壊とその規模を各号で検証してきた。崩壊シリーズの途中においてリーマンショック(地震に例えれば:マグニチュード7.5クラス)が起きて、世界の株価・不動産価値・債権価値が下落し、その後も世界各国の金融不安は断続的に勃発している。いよいよ経済の大震災である恐慌(マグニチュード9.5)が迫っている。この恐慌は世界各国を今後15年間カオスの状態に閉じ込めていくだろう。冒頭に掲載したように世界の到る所で国家の破綻、金融恐慌、取付け騒ぎ、略奪、一揆、暴動、人為的原発事故の多発、革命等が勃発するだろう。

**【世界の資産価格等の今後の推移】**

まず今後15年間で我々が所有する資産価値はどう変動していくのか考察してみる。

**日本及び世界の為替・不動産・債権・株式等は現在価格と比較して今後次のような価格になるだろう。**

- ① 日本の市街化土地(マンション含む): 現時価の1/4から1/5に下落。
  - ② 株式: 東証株価日経平均1/2~1/3。
  - ③ 米国、英国、仏の株価1/6~1/10。
  - ④ 加、豪、独株式1/3。
  - ⑤ 日本国債及び地方債: 紙切れ。ただし、左記に記載されたことを実行し(国民すべて労働者)、かつ国家の年金・医療費負担を大幅カットすれば再建可能。
  - ⑥ 米国債及び地方債: 紙切れ。
  - ⑦ 日本GDP: 1/2~1/3。 ⑧ 世界のGDP: 1/3~1/4。
  - ⑨ 新興国(中国・印度等) 経済は先進国の需要失速で一挙に崩壊する。
  - ⑩ 日本円: 崩壊して新円(金を担保)発行。上記⑤のただし書が実行出来れば、旧円が生き延びる。
  - ⑪ 米ドル: ドルは崩壊して新ドル(金を担保)発行。
  - ⑫ ユーロ: 世界の基準通貨に定着(5~7年後)。
  - ⑬ 年金受給権: 破綻して支給額1/2。
  - ⑭ 社会保険: 患者負担分が5割負担に。
  - ⑮ 債権(社債、投資信託)1/3~0(紙切れ。)
  - ⑯ 金(ゴールド)4~10倍、世界の新基準通貨(ユーロ)の構築後安定する。価格が4倍を超えてきたらバブル。ただ、金融機関国営化に伴い一時的に金取引が停止される可能性(価格が4倍前後時)がある。
  - ⑰ 物価: 当分スタグフレーション(インフレと不況が同時進行)の後、物価は下落する。ただ海外輸出品(石油、農水産物、原材料等)は円とドルの紙切れ化により暴騰する。政策次第(お札増刷)でハイパーインフレーション発生し、物価はメチャメチャ高騰。
  - ⑱ 金融機関: 金融恐慌によりほとんどが国有化。
  - ⑲ 証券会社: 財務内容の悪いところを中心に倒産続出。
  - ⑳ 保険会社: 財務内容の悪いところを中心に倒産続出。
- 以上の通り異常な状況になるだろう。

**【生活防衛手段として】**

- ① 年金では食えないので、不足分を親子2世帯住宅等にして生活費を簡素化し、出来る限り長く働く。
- ② 輸入品が高騰するので、自給自足できる体制を構築する。[(家庭農園、農家との交流。田舎(原発影響地域を避けて)に転居耕作)]
- ③ 株式、投資信託、社債、国債及び地方債は早い段階で処分する。
- ④ 預貯金はペイオフで1000万円保護される言葉を信じず、預貯金を全部解約し、現金、一部を金(ゴールド)に換え、経済の急変時に備える。
- ⑤ 不動産は大きく値下がりするので、手を出さない。
- ⑥ 借金は出来る限りしない。⑦ 晴耕雨読に従い、晴れた日は仕事(耕作)、ボランティア、散歩、ジョッキング、ハイキング、雨の日は読書、作家等勉学に励み、気分転換を図る。以上次号につづく